

青年協ニュース

全国の取り組みやチラシ・ニュース等をお寄せください！

FAX：03-3875-6270 か seinen@irouren.or.jp まで

青年協のブログ (<http://irouren.cocolog-nifty.com/seinen/>) もよろしく！

憲法・平和を守る気持ちは一緒！

—ヒロシマで、青年学習交流集会、100名越える参加—
知ること、伝えること、つながること、続けることが大事

5月27日(土)～28日(日)の2日間、広島にて青年学習交流集会在、北は北海道から南は九州・沖縄まで106名の参加者で開催されました。

被爆者の声と被爆の実状を告発したビデオ「人間を返せ」の上映でオープニング、「平和の取り組みを強めて行くために、一緒に勉強して行こう」と三村議長から主催者あいさつがありました。

その後、広島県被団協の吉岡幸雄さんの記念講演(被爆者の証言)へと移りました。

8月5日～6日にかけて、防火と避難場所の確保を目的に建物疎開(建物を壊す作業)のために大動員させられていて、水主町(かこまち)に行っていた吉岡さん。8月6日は休日ということで、



被爆当時の様子を語る吉岡さん

父親と一緒に風呂釜と煉瓦を安値で譲ってもらうために、被爆場所に行って16歳で被爆されました。フラッシュを何回もたいたいような強烈な閃光、熱線で体は焼かれ、気絶し爆風で川に飛ばされました。原爆で同級生23人が亡くなり、自分自身も熱線で焼かれ、放射能障害や差別なども受け、「生き残ってしまった」ことに罪悪感をいだきながら生きてきた事、死んでいった同級生を無駄死ににさせないために核兵器の運動に取り組まれてきた事など、胸の詰まるお話でした。



地元青年部のピースナビゲーターが案内

あいにくの天気(雨が降ったり止んだり)でしたが、午後には雨も上がり、平和記念資料館の見学後、碑めぐりがスタートしました。この碑めぐりでは、現地の青年がナビゲーターとして平和公園内にある碑を一つひとつを案内してもらいました。

2日目は、各ブロックを中心にグルーptークを行い、原爆と平和、憲法9条などについて語り合いました。

「私たちにいま何ができるのか」学習交流集会で学んだことを、自分の身近な人たちに伝える事だと思います。「知ること・伝えること・つながること、続けること」を楽しく広げていきましょう。

(東北ブロック青年委員・斎藤和博)



夜の交流会も大いに盛り上がりました

参加者の感想文から

【記念講演】

被爆者本人から話を聞くことで、生々しい体験の悲惨さを、改めて感じました。戦争が及ぼす様々な問題(心的障害、差別、身体的障害)によって、戦後60年たった今でも、被爆者の方々が苦しんでいることを実感し、二度とこのようなことを起こしてはならないと強く思いました。また私たちが確かな知識を持ち、若い世代に伝えていかなければいけないのでは、と感じました。そのためにも憲法9条を守らないといけない。

【フィールドワーク】

こんなに多くの碑があるのにびっくりしました。見たことのない碑も多く、日本人だけでなく、朝鮮の方々の碑もあり、考えさせられました(日本は被害者でもあるが、加害者でもあることなど)。また広島の方々がガイドしてくださったことにも、感動しました。

【グルーptーク】

みんな色んなこと感じたんだな...、同じものをみても、人によって感じとるものって違うんだと思い、だとすると「人に伝える」って、同じことを伝えても、同じものを感じるとは限らず...難しいなぁと思いました。でも「0を1に近づける」ことは出来るなぁって思って、とりあえず自分の周囲にいる人と平和とか戦争、憲法の話できたらいいなぁと思いました。

重要なお知らせ

秋の青年代表者会議が日程変更!

青年協議会の年間スケジュールで、決定していた10月21~22日の「第30回青年代表者会議」の日程が、日本医労連の秋闘スケジュールの関係で変更になりました。

10月27日に、5000人規模の中央総決起集会が計画されているため、この日は、各組織の青年部役員のみなさんをはじめ、周りの青年労働者の方々も多数参加していただくようお願いいたします。

なお、変更した日程は、11月18~19日です。現在、横浜で会場を押さえています。詳細については、今後お知らせしていきます。

11月18~19日、横浜にて開催